

敦賀市河川カメラ設置事業

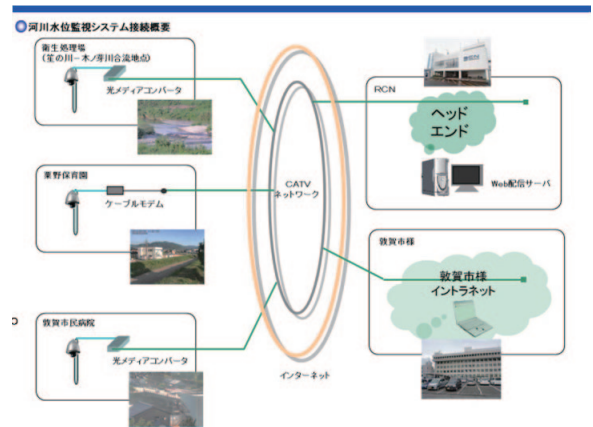
平成24年の台風による河川の氾濫危機をきっかけに、福井県敦賀市では監視用ネットワークカメラを設置。CATVイントラネットを介してリアルタイムに河川の状態をモニタリングできるシステムを構築した。

背景

平成 24 年 9 月の台風 15 号の大雨により、敦賀市内の河川が氾濫危機水位に達し、河川周辺住民 1,000 世帯、2,600 人に対し避難勧告が発令された。敦賀市では住民生命と安全確保のため河川監視整備を推進。敦賀市内をカバーエリアとする嶺南ケーブルネットワーク(株)のインフラを活用し、自治体連携による監視用ネットワークカメラの設置を行った。

概要

- 本事業は敦賀市が防災上の観点から、筥(しょう)の川、木の芽川及び井口川の河川水位を遠隔監視し、緊急時の迅速な初動体制を図るため、①敦賀市衛生処理場(筥の川、木の芽川合流点)、②市立敦賀病院(筥の川)、③粟野保育園(井口川)の3か所に監視カメラを設置した。
- 嶺南ケーブルネットワーク(株)の光ケーブル及び同軸ケーブル網で構成するCATVイントラネットを介して敦賀市防災センターより、リアルタイムに河川の状態をモニタリングできるシステムを構築した。
- 各箇所のカメラは、夜間の暗闇でも映像を受信できるよう、赤外線照射が可能な赤外線LED投光器を使用し24時間体制にて運用している。



アピールポイント

- かねてより大雨時に氾濫の恐れがあった河川へ監視カメラを設置する事により、初期段階で判断ができ、防災センターの初動がスムーズに行われている。
- さらに自治体とCATV会社が連携する事により、市民への情報発信に役立っており、防災の観点より安全性の確保が出来た。
- 今後は道路交通情報等の監視用としてカメラ増設を計画している。



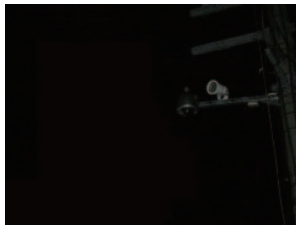
粟野保育園設置監視カメラ



敦賀市民病院設置監視カメラ



敦賀市民病院設置監視カメラ



赤外線LED投光器設置にて夜間監視も可能



防災センターにてリモート監視実施



防災センターにてリモート監視実施

